

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間： 令和6年4月1日 から 令和7年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立フォレストガーデン	
(2) 施設の設置目的	
市民に身近な自然に親しみ、農業体験を通して健康で活動的なレクリエーションを行う場を提供するとともに、自然緑地の保全と活用を図り、農業の振興に資するため	
(3) 所管部局	
産業振興局 農政部 農水産課	
(4) 指定管理者名	
みんなの里山倶楽部 (特定非営利活動法人ASUの会、一般社団法人堺南すこやかファーム推進会、一般社団法人泉北レモンの街ストーリー、泉北エンタープライズ株式会社)	
(5) 指定期間	
令和4年4月1日から令和9年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none"> 施設の運営に関する業務 施設等の維持管理に関する業務 市民菜園に関する業務 里山エリアの活用に関する業務 施設の収穫物を活用した地産地消を推進する業務 施設を活用した農福連携の取組 	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
スポーツ・レクリエーション施設	有 (徴収委託)
(9) 開場時間	(10) 休館日
夏季(4月から10月) 7時00分から18時00分まで 冬季(11月から3月) 7時00分から17時00分まで	毎年12月29日から1月3日まで
(11) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	

次頁以降の各管理運営状況の取組評価については、以下の評価基準により評価を行う。

評価基準	a	要求水準を上回り、優れた管理運営がなされている
	b	要求水準を満たしており、適正に管理運営がなされている
	c	要求水準を下回る管理運営がなされている
	d	要求水準を大幅に下回る管理運営がなされている

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組評価

	指定管理者	市
市民の平等利用や日常の事故防止、当該業務において回避しなければならないリスクに対して、回避するための具体的な方策を講じているか。	b	b
防犯、事件事故及び災害の発生時又は発生に備えた対応が適切であったか。	b	b
利用者の個人情報の取扱いや情報管理体制は適切であったか。	b	b
仕様書等で定めている人員配置(障害者、高齢者等)は、適切に為されているか。	b	b
人材育成の方針や研修計画等に基づいて、職員の資質や能力の向上を図るために必要な研修を適切に実施していたか。	a	b
施設の設備、器具備品は、適切に管理していたか。また保守点検や法定点検は、適切に実施していたか。	b	b
施設の設置目的や市が定める各種計画等に則って施設の管理運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、設置目的に沿った成果を得られたか。	b	b
利用者への情報提供、広報が適切に行われているか。また効果があったか。	a	a

イ 評価に関する所見・特記事項

指定管理者	市
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意見聴取を日常的に行い、菜園が利用しやすい環境を整備することで満足度の向上に取り組んでいる。 ・自主事業では多くの市民がフォレストガーデンを訪れ、楽しい時間を過ごし、学べるイベントを年5回定期化し3年間継続して実施している。 ・HPやSNS等で、情報提供、イベント告知などに取り組み、フォロワー数が300以上になるなど一定の効果を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者より除草等の要望が多く寄せられていたことに対し、除草スケジュールを作成し計画的な除草を行う等の対応を行い改善に取り組んでいる。 ・実施したイベントにて行ったアンケートより、イベント参加者のうち、フォレストガーデンに初めて来た市民は40%であった。このことから、ファミリー層に向けた自主事業を実施することで、新たな利用者層を開拓し、施設の活性化を図っているといえる。

ア 利用状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指定管理者名	みんなの里山倶楽部	みんなの里山倶楽部	みんなの里山倶楽部
利用者数(単位:世帯)	193	168	168
稼働率(単位:%)	68.0	63.0	64.0
利用者満足度(単位:%)	95.0	-	100.0

イ 取組評価

	指定管理者	市
利用者が利用者しやすい料金の設定や利用区分になっているか。	b	b
利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	a	a
利用者からの苦情、要望への対応が適切に行われ、また、利用者の意見を施設運営やサービスに反映させる取組がなされたか。	b	b
自主事業の実施など施設の設置目的の範囲内で、サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされたか。	a	a

ウ 評価に関する所見・特記事項

指定管理者	市
<ul style="list-style-type: none"> ・菜園区画の広さ、使用期間を利用者から聴取した意見をもとに見直すことと並行して、栽培指導に力を入れた結果、「学べる菜園」の評価が徐々に醸成されつつある。 ・自主事業で、フォレストガーデンの資源(竹、レモン)を使用し、イベントを通じて年間200人以上の来園者を取り込むことで、施設の価値を高められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用期間や使用区画などが煩雑であったこと、高齢化などの理由により市民菜園使用者数が減少し、稼働率が目標値に到達しなかった。したがって、すべての人が使いやすい区画構成、わかりやすい申込方法の見直しを行った。 ・有機栽培等の近年注目が高まっているコンテンツを取り入れ、農業初心者や若年層へのアプローチを実施している。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■指定管理業務		令和4年度	令和5年度	令和6年度	【参考】 令和6年度(予算)
指定管理者名		みんなの里山倶楽部	みんなの里山倶楽部	みんなの里山倶楽部	みんなの里山倶楽部
収入	指定管理料	11,957,000	16,691,885	16,500,000	16,500,000
	利用料金	-	-	-	-
	負担金	-	-	-	-
	その他	4	49	2,688	-
合計		11,957,004	16,691,934	16,502,688	16,500,000
支出	人件費	5,552,780	5,232,179	6,591,729	6,674,000
	委託料	1,472,596	1,754,285	575,404	1,250,000
	総支出額に占める 委託料の割合	12.2%	10.6%	3.5%	7.6%
	修繕費	61,540	121,856	302,154	140,000
	光熱水費	986,472	899,274	889,320	1,000,000
	その他	4,038,370	8,618,107	8,091,945	7,436,000
合計		12,111,758	16,625,701	16,450,552	16,500,000
収支差額		-154,754	66,233	52,136	0
(市への納付金の額)		-	-	-	-

■自主事業 (有)

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	【参考】 令和6年度(予算)
収入	248,083	274,974	279,173	375,000
支出	135,555	140,908	222,497	321,200
収支差額	112,528	134,066	56,676	53,800
(市への納付金の額)	-	-	-	-

イ 取組評価

	指定管理者	市
施設の管理運営に関し、経費を縮減するための十分な取組が図られているか。	b	b
収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。	b	b
当初の収支計画どおりに適切、適正に予算執行がなされているか。	a	b
経理事務は適正に行われているか。	b	b

ウ 評価に関する所見・特記事項

指定管理者	市
人件費、農資材の高騰などで厳しい運営となっているが、菜園、里山、緑地管理の各代表者が月別、四半期別に立てた予算計画に基づき適切な予算執行を行うことで収支バランスを保っている。	・個々の職員の持つ知識や能力を活かし、また管理作業においてボランティアの活用等により清掃等経費削減を行い、安定的な経営を行った。 ・最低賃金の引き上げなどで、人件費高騰となったが、収入と支出のバランスを保ち、安定的な運営を実施している。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 市が仕様書で定める目標の達成状況

■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
事故発生件数	0件	1件

■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
市民菜園利用率	85%以上	64%

■ 収支

指標	目標	実績
収支のバランス	単年度収支黒字の確保	黒字52,136円

イ 実績に関する所見・特記事項

指定管理者	市
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の菜園利用リタイアと若年層の新規参入のバランスがとれず、菜園使用率は目標を下回っている。 ・新規利用者への栽培知識、技術の提供、参加しやすい環境の整備を進めていくことで目標達成をめざしたい。 ・里山を愉しむ自主事業イベント開催により、フォレストガーデンの堺市内での認知度も高まってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の維持管理や点検は適切に実施されており、危険箇所等について早期に発見・対応することで安全面を担保することができた。 ・菜園を長年使用している市民の高齢化や菜園使用申込等の煩雑さにより、利用率は目標を下回ったが、若年層や子育て世帯に利用を促すような改善策を積極的に実施している。 ・収支について、ボランティアの活用等により経費削減を行い、適切なバランスで運営できている。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・使用率目標達成のため、日常の利用者からの意見聴取に基づき、最適な募集方法、募集内容の確立、情報発信など見直しを行っている。 ・自主事業のイベントは、「体験」と「学び」をテーマに多くの市民の参加を得ている。さらに内容を充実させることで多くの市民の参加を促していく。 ・里山エリアの活性化について、計画に添って、年次ごとに遂行され、魅力あるエリアへと変貌しつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に届かない部分もあるが、市民菜園や里山エリアを利用し、若年層等に向けた取組を実施することで、施設全体の集客・活性化に寄与した。 ・日常の点検等を適切に行うことで来園者の安全確保に努めた。 ・目標達成に向けて、菜園教室や自主事業等の取組の継続を行った。 ・森の学校計画に添ってフォレストガーデンの資源である竹を再利用した竹ご飯や水鉄砲作りなどのワークショップを実施することでファミリー層への関心を高めた。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの